

自尊心とファッショニへの関心、行動との相関性

山陽学園短大〇井上猛司 江口玲子 就実短大 杉本智枝子 文教大女短
大(非)佐藤由紀子 関東学院女短大 杉田洋子 東京家政大家政 知野
恵子 川村短大 高橋裕子 田中美智 安盛都子 山田寛 共立女大家政
小林茂雄

〈目的〉 ファッショニへの関心やファッショニによる自己表現は、自尊心の影響を受けると考えられている。ファッショニの表現においては、現実または理想のプロポーションに対するイメージが影響を与えると推定されるが、それは自尊心を介しての影響と考えることもできる。自尊心とファッショニへの関心、行動との相関性を定量的に把握する目的で前報で述べた自尊心尺度をパラメーターの一つとして関連性を調査した。

〈方法〉 前報と同様の方法で質問式自尊心測定検査を行い、別の時点で同じ女子大生を対象に別のアンケートによるファッショニ意識、関心度、行動調査を行った。自尊心測定検査結果の因子分析により抽出された6因子について、パネルを各因子の因子負荷量が大きいグループと小さいグループに分けてファッショニ意識、関心度、行動パターンの差を解析した。

〈結果〉 自尊心の6因子はいずれも、いくつかのファッショニ行動と強い相関性を示すことが分かった。特に第5因子の「自己の能力への自信」と名付けた因子の因子負荷量の大きいグループと小さいグループの間には、ファッショニ関心度および行動に顕著な差があることが認められた。